

第10章 産業活力部

1. 農業
2. 商工業
3. 観光

1. 農 業

本市の農業は、農業従事者の高齢化や後継者不足などの問題を抱えていますが、大消費地に近いという地理的条件を生かした都市型農業を進めています。

このような状況の中、本市においては、農地の有効活用、生産基盤の整備、多様な担い手の育成、都市と農村の交流促進、環境にやさしい農業の推進など各種の施策展開により、農業経営の安定化と農業が有する多面的機能の保全に努めています。

(1) 農家数及び農家人口

各年2月1日現在

区分 年	総農家数	専業農家数 (販売農家)	第1種兼業 農家数 (販売農家)	第2種兼業 農家等 (販売農家)	自給的 農家数	農業就業 人口 (販売農家)
22	851戸	163戸	159戸	285戸	244戸	1,132人
27	734戸	163戸	80戸	255戸	236戸	952人

(注) 総農家とは、経営耕地面積が10a以上又は、年間農産物販売金額が15万円以上の農家をいう。

販売農家とは、経営耕地面積が30a以上又は、年間農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

資料：2010・2015年農林業センサス

(2) 年齢別農業就業人口

(単位：人)

区分 年	総数	15歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	80歳 以上
22	1,132	40	59	91	180	285	318	159
27	952	36	58	71	134	271	237	145

(注) 農業就業人口とは、自営農業のみに従事した者又は、農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者をいう。

(3) 農用地面積

(単位：ha)

年	総数	田	畑	樹園地	採草放牧地	施設用地	山林	その他
27	1,012.7	530.4	365.9	59.2	55.6	1.6	—	—

資料：農政課調べ（平成28年3月末日現在）

(4) 種類別農業産出額

(単位：百万円)

順位	種類	産出額	順位	種類	産出額
1	野菜	1,990	5	花き	50
2	畜産	970	7	雑穀・豆類	40
3	果実	590	8	種苗・苗木類	30
4	米	380	—	—	—
5	いも類	50		計	4,100

資料：平成18年千葉県生産農業所得統計

(5) 経営所得安定対策

近年の農業をとりまく情勢は、農業従事者の減少・高齢化、農業所得の激減など大変厳しい状況にあります。また、海外での穀物需給情勢や担い手の育成・確保の状況をみると、生産力を確保することが重要となっています。このような状況の中、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、国内農業の再生を図ることにより、食糧自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって発揮されるようにするため、経営所得安定対策が導入され、販売価格が恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を国が直接交付することとなりました。

年度	米の 直接支払交付金	水田活用の 直接支払交付金	畑作物の 直接支払交付金	合計金額	申請数
27年度	4,658,250円	28,716,335円	430,546円	33,805,131円	60人

(6) 園芸振興

本市の園芸作物は、日本梨、春夏にんじん、秋冬ほうれんそうを中心に、ねぎ、だいこん等の露地野菜、施設野菜のトマト、きゅうりが主な栽培作物です。

① 日本梨の収穫面積 (単位：ha)

順位	品 種 名	面積
1	幸 水	28
2	豊 水	17
3	新 高	8
4	そ の 他	8
	計	61

② 野菜の栽培面積

(単位：ha)

順位	作物名	面積	順位	作物名	面積
1	ほうれんそう	116	7	ばれいしょ	15
2	にんじん	64	7	スイートコーン	15
3	ねぎ	53	9	さやいんげん	10
4	だいこん	29	9	こまつな	10
5	えだまめ	28	9	キャベツ	10
6	さといも	18	12	トマト	9
				計	377

(栽培合計は年産合計)

資料：平成18年産青果物生産出荷統計

③ 今後の振興策

農業従事者の減少と高齢化が進んでいることから、農作業を軽減させる機械の導入支援、生産性及び収益性を高める施設の整備支援をしていきます。

(7) 畜産業

本市の畜産は、酪農が中心で養豚は少数です。都市化により酪農家の戸数、全体の飼養頭数は減少傾向にあります。

産出額では、農業産出額全体の約25%を占め、野菜に次いで第2位となっています。

酪農については、畜産産出額の約80%であり、本市農業の重要な地位を占めています。

環境問題に関する住民の意識が高まる中で、環境保全対策の確立と耕種農家との連携強化を図りながら、資源循環型農業経営を推進しています。

家畜の頭数内訳

平成27年度（農政課調査）

区分	農家数	頭数				
		成畜	育畜	計	成畜	育畜
乳用牛	15戸	669頭	321頭	990頭		
肉用牛	1戸	9頭	1頭	10頭		
豚	2戸	193頭	2,078頭	2,271頭		
計	18戸					

(8) 農業生産基盤の整備の推進

本市には現在530haの水田があり、全て基盤整備事業が実施されておりますが、過去に整備された水田の中には狭小で、現在の農業には合致しない水田もあります。今後は大型機械が導入できるよう区画形状を30a以上に拡大し、合わせて乾田化と凡用化を図るため、再基盤整備を実施し、農業経営の近代化、合理化を進めます。

○土地基盤の再整備推進地区

地区名	事業名	推進状況の概要
桑納川地区 (桑納川沿岸土地改良区)	経営体育 成基盤整 備事業	事業区域：約40ha 総事業費：約8億円（概算） 事業推進主体：桑納川沿岸土地改良区 関係機関：千葉県（印旛農業事務所、千葉農業事務所）および千葉県土地改良事業団体連合会（水土里ネット千葉） 受益者と調整し、関係機関と連携しながら、事業採択に向けた協議を進めています。

(9) 八千代ふるさとステーション ※（道の駅「やちよ」）

八千代ふるさとステーションは、市内の農家が作った農産物、農産加工品の展示や販売、市内産牛乳を使ったアイスクリーム等の製造販売、また市内産の農産物を食材とした料理の提供などを通して、農業、農村の活性化を図ることを目的としています。

また、国道16号沿線という立地条件を活かして、多くの市民に本市の農業、農村をアピールし、消費者と農業生産者の交流の場として活用されています。

※道の駅「やちよ」

道の駅「やちよ」は、八千代市が平成8年4月に建設省から指定を受けた、千葉県内で3番目の道の駅です。

道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、地域振興施設による「地域連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設です。

また、八千代ふるさとステーションとやちよ農業交流センターの両施設を結ぶ歩道橋の建設に伴い、平成27年2月末より一体の施設として道の駅「やちよ」として指定を受けました。

① 施設の概要

所在地	八千代市米本4905番地1
開設年月日	平成9年7月20日
敷地面積	15,017㎡
建築面積	1,793㎡
延床面積	1,339㎡
構造	鉄筋コンクリート平屋建て一部鉄骨造り

② 施設内の概要

施設名称	床面積㎡	利用目的等
農産物特産物展示販売場	440.12	八千代市内及び近隣の「農畜産物」、「地酒」及び「乳製品」等商工製品の展示販売
アイスクリームファクトリー	51.25	アイスクリーム等の製造販売、及び「乳製品」の展示販売
レストラン (ラウンジを含む)	361.76	市内農産物等を使用した料理の提供
トイレ	73.63	男：小4基・大2基、女：4基、障害者：1基
事務室	69.42	八千代ふるさとステーション管理運営用事務室

駐車場

大型車(台)	普通車(台)	計
10	100 (内障害者用2)	110台

③ 利用状況

(平成27年4月1日～28年3月31日/349日間)

施設名称	利用人数
農産物特産物展示販売場	472,078 人
アイスクリームファクトリー	121,112 人
レストラン (ラウンジを含む)	59,637 人
合計	652,827 人

(10) やちよ農業交流センター ※（道の駅「やちよ」）

やちよ農業交流センターは、農業への市民の理解と関心を深め、農業者の経営意欲の増進や知識・技術の向上を図り、農業の振興に繋げることを目的としています。

家族で半日過ごせるハーフデイパークを目指して、周辺の観光農園・体験農園等を一体的に整備することで、農業の振興及び都市と農村の交流できる場を提供する施設です。

① 施設の概要

所在地	八千代市島田2076番地
開設年月日	平成25年4月1日
敷地面積	10,358㎡
建築面積	1,726㎡
延床面積	1,473㎡
構造	平屋建て鉄骨造り

② 施設内の概要

施設名称	床面積㎡	利用目的等
第1・第2研修室	215.61	農業関係の研修及び会議，農業者に対する研修，会議
農産物加工所	105.95	市内農産物等を使った加工品の製造
調理実習室	130.11	農産物の加工講習，市内農産物等を使った調理実習
情報・交流（喫茶・休憩コーナー）室	209.47	市内農産物等を使った軽食の提供，休憩施設
農産物・加工品販売所	209.47	市内農産物で製造した加工品等の販売
管理事務所	85.50	やちよ農業交流センター管理運営用事務所
トイレ	128.00	男：小7基・大4基、女：9基、障害者：2基
ふれあいモール	388.46	農業振興を目的とした催し等

駐車場

大型車（台）	普通車（台）	計
0	109（内障害者用3）	109台

③ 利用状況

（平成27年4月1日～28年3月31日/346日間）

施設名称	件数	利用人数
第1研修室	165件	2,783人
第2研修室	92件	1,921人
第1・第2研修室	66件	4,693人
調理実習室	175件	2,271人
合計	498件	11,668人

（平成27年4月1日～28年3月31日/346日間）

区分	利用人数
喫茶コーナー	11,453人
農産物加工所	22,809人
合計	34,262人

（ただし、農産物加工所は平成27年4月21日～28年3月31日の326日間）

2. 商 工 業

(1) 商業(小売業)の推移

区分 年	事業所数	売場面積	従業者数	年間商品販売額
14	1,104	155,905 m ²	9,314 人	15,129,981 万円
16	1,069	180,045 m ²	9,955 人	15,807,750 万円
19	1,030	203,233 m ²	9,762 人	16,074,969 万円
24	721	189,614 m ²	7,612 人	13,908,200 万円
26	749	187,256 m ²	7,910 人	14,181,067 万円

(平成24年は、平成24年経済センサス活動調査による。それ以外は商業統計による)

(2) 商店街の環境整備

(商店街共同施設設置状況)

平成27年度

施設	団体名	数量
街 路 灯	大和田駅前通り商店会	23 基
	高津団地中央商店会	25 基
	高津西通り商店会	12 基
	八千代市村上中央商店街振興組合	17 基
	学園通り商店会	34 基
	勝田台駅前東商店会	49 基
	勝田台駅前商店街振興組合	43 基
	勝田台北口商店会	50 基
	八千代台駅東口商店会	39 基
	八千代台駅前商店会	33 基

(3) 工業の推移

年	区分	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
22		181	8,776	19,469,578
23		201	8,058	21,095,046
24		178	9,354	20,260,424
25		168	9,668	21,579,621
26		165	9,682	22,771,249

(平成24年以降は、「工業統計表(経済産業省大臣官房調査統計グループ)公表」による。それ以前は、工業統計調査による。)

(4) 工業団地

平成28年4月1日現在

団地名	事業主体	面積	造成着手	分譲完了	会員企業数
八千代	県土地開発公社 八千代市開発協会	57.1 ha	S36年	S39年	34社
上高野 (村上)	県土地開発公社 八千代市開発協会	64.0 ha 1.5 ha	S42年 S52年	S47年 S54年	47社 3社
吉橋	八千代市開発協会	22.6 ha	S45年	S51年	31社
その他	—	—	—	—	9社

(注) 吉橋とその他の両方の協議会に加入している企業1社あり。

(八千代市工場協議会名簿による)

(5) 中小企業対策

① 資金融資

・融資枠等

預託金 3億円

融資枠 18億円(預託金の6倍)

(融資内容)

平成28年4月1日現在

区分	融資限度額	融資期間	利率	利子補給率	取扱金融機関
小口 事業資金	運転	1,250万円	5年	1年以内 2.00%	1.80%
	設備	1,250万円	7年		2.00%
事業資金	運転	2,000万円	5年	1年超 3年以内 2.20%	1.80%
	設備	3,000万円	7年		2.00%
環境経営 応援資金	運転	2,000万円	5年	3年超 5年以内 2.30%	1.80%
	設備	3,000万円	7年		2.00%
経営安定化資金	500万円	5年	5年超 2.55%	2.50%	千葉信用金庫 京葉銀行
福利厚生施設整備資金	1,500万円	7年		2.00%	
新規大型店 対策資金	運転	800万円	5年	5年超 2.55%	2.00%
	設備	1,500万円	7年		2.00%

利子補給率は、貸付利率以内

② 融資状況

(単位：千円)

区分 年度	小口事業 資金	事業資金	公害防除 資金	経営安定 化資金	工場移転 資金	福利厚生施 設整備資金
25	30,100 (11)	367,900 (37)	—	—	—	—
26	109,300 (26)	951,460 (90)	—	—	—	—
27	59,800 (17)	685,970 (66)	—	—	—	—

()内は融資件数

(6) 職業相談

(八千代市地域職業相談室)

年度	新規求職申込件数	紹介件数	就職件数
25	1,105	7,951	862
26	1,594	6,259	826
27	1,338	5,349	799

3. 観 光

(1) 八千代ふるさと親子祭

八千代ふるさと親子祭実行委員会との共催により、八千代ふるさと親子祭を開催し、ふるさと意識の高揚と観光の振興を図り、交流人口の増加に努めました。

開催場所：八千代総合運動公園多目的広場ほか

事業内容：BGMと仕掛け花火、灯籠流し、各種イベントなど

年 度	回 数	総 事 業 費	来 場 者 数
25	39 回	21,520,539 円	70,000 人
26	40 回	18,168,936 円	100,000 人
27	41 回	18,069,799 円	110,000 人

(2) 八千代どーんと祭

八千代どーんと祭実行委員会が主催する八千代どーんと祭を後援し、産業の振興を図るとともに交流人口の増加に努めました。

開催場所：八千代総合運動公園多目的広場

事業内容：商工業者・農業者の出展、乳牛共進会など

年 度	回 数	総 事 業 費	来 場 者 数
25	13 回	8,591,754 円	51,000 人
26	14 回	8,442,732 円	110,000 人
27	15 回	8,336,442 円	90,000 人

(3) 源右衛門祭

源右衛門祭実行委員会が主催する源右衛門祭を後援し、新川治水対策の先駆になった染谷源右衛門の功績の紹介と産業の振興を図り、交流人口の増加に努めました。

開催場所：八千代総合運動公園多目的広場

事業内容：商工業者の出展、染谷源右衛門の紹介、源右衛門鍋による豚汁、音楽会など

年 度	回 数	総 事 業 費	来 場 者 数
25	10 回	3,499,233 円	10,000 人
26	11 回	2,966,045 円	25,000 人
27	12 回	3,202,616 円	12,000 人